

三次市障害者支援センター連続講座のお知らせ

～こもっている人は困っている人・それでええんよ～

様々な理由により、生きづらさを感じている方やその家族が安心できるネットワークづくりをめざした講座を行います。

第1回「生きづらさを感じている方の理解と対応について」

とき 2022年5月21日(土) 13:30~15:30

講師 鳥取県立精神保健福祉センター 所長 原田 豊さん



【プロフィール】

鳥取県立精神保健福祉センター所長。大阪市生まれ。精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医・指導医。1982年鳥取大学医学部卒業後、同大学院、隠岐病院精神科などに勤務。1991年10月鳥取県立精神保健福祉センター所長に就任し現在に至る。著書/「支援者・家族のためのひきこもり相談支援実践ガイドブック〜8050問題、発達障害、ゲーム依存、地域包括、多様化するひきこもり支援〜」(福村出版、2020)など。

第2回 2022年8月20日(土) 13:30~15:30
「家族の対応について ~当事者の立場から~」
津山・きびの会 馬場 貴裕さん 馬場 律子さん

第3回 2022年11月19日(土) 13:30~15:30
「生きづらさを感じていても元気で働くために」
沼田BASE 代表 今井 道夫さん

第4回 2023年1月21日(土) 13:30~15:30
「将来に備えて ~地域で支える~」
庄原空き家解決専門家ネットワーク代表理事・司法書士 飯田 一生さん

第5回 2023年3月18日(土) 13:30~15:30
「自分らしく輝いて過ごすために」
ピオWRAP(ラップ) みよし

* 会場はいずれの回も
三次市福祉保健センター
4階ふれあいホール及びオンライン
(〒728-0013 三次市十日市東三丁目14-1)
※ ただし第5回は会場のみ
* 参加費は無料です。
* 申込締切は各回とも開催日の10日前
* 連続講座ですが1講座のみの受講も可能です。

* スマホの方はこちらのQRコードからお申込みください。



* パソコンの方はこちらのURLからお申込みください。
<https://forms.gle/TiawvZHqkLuiTmj57>

みんなの食堂 マヌケルキッチン

地域で生活するみんなの集いの場♥つながる場として昨年からはじめた、みんなの食堂「マヌケルキッチン」、ボランティアや食材を提供して下さるみなさんに支えられて、今年度も開催します。

今年度の予定は、つぎのとおりです。

♥ 5月10日(火)	9月6日(火)
♥ 6月7日(火)	10月4日(火)
♥ 7月5日(火)	11月1日(火)
♥ 8月2日(火)	12月6日(火)
	1月10日(火)
	2月7日(火)
	3月7日(火)

開店：午後4時30分
閉店：午後7時30分

ところ：三次市生涯学習センター3階 交流ホール
参加費：こども(高校生以下)無料 おとな200円

※ 食事は午後6時頃から

誰かとおしゃべりしたい人、お腹がすいた人、今日ご飯を作るのが面倒な人など、どなたでもおいでください。希望される方は、5日前までに「参加予定日、住所・氏名・連絡先(電話番号など)」を、三次市障害者支援センターへお知らせください。

電話 0824-65-1131
ファックス 0824-65-1132
メール support@pl.pionet.ne.jp

* スマホの方はこちらのQRコードからお申込みください。



* パソコンの方はこちらのURLからお申込みください。
<https://forms.gle/zDY4aMkzQVWTiv99A>

三次市
障害者支援センターだより

2022年5月 No.69

〒728-0013
三次市十日市東三丁目14番1号
三次市福祉保健センター2階
TEL (0824)65-1131
FAX (0824)65-1132
E-mail support@pl.pionet.ne.jp
URL <https://houkatsu-miyoshi.org>



マヌケル君のアポなし訪問

放課後等デイサービス・児童発達支援事業所

「キッズさぼーとyui」へやって来ました。



建物の中へ入ると、子どもたちと職員さんの明るく楽しそうな声が聞こえてきました。

皆に絵本の読み聞かせをしている1年生。屋内に設置されたうんていを何度も往復、自由自在に体を操る4年生。みんなを優しい笑顔で見守る高校2年生。など、それぞれの過ごし方がありました。

管理者の水越さんにお話を伺いました。職員の皆さんは、「その人その人の一日を大事にしたい。色々なもめ事はあるけれど、一日の最後を笑顔でしめよう。」という気持ちで、子どもたちを迎え入れているそうです。

そして、そのためには、職員も、自分らしく一緒に楽しむことが大事とのこと。ここでは、大人も子どもも、上下関係はないそうです。

大人が仕切ることでもとまる場所ではなく、子どもが内面から自分を出して人と関わることができる場所が「キッズさぼーとyui」です。

もめ事は起きて当たり前ですが、それでも、そのときの子ども背景、子どもの気持ちを想像し、「くやしかったよね。」「うらやましかったんだよね。」というように、ていねいに代弁します。子どもたちは、「分かってもらえた」という気持ちを持つことができると、切り換えができ、相手にも優しくなれるのだそうです。



一人ひとりの個性を、お互いが大切にしながら過ごすことができる空間、「キッズさぼーとyui」は、そんなとても素敵な場所でした。



三次市障害者支援センターでは、YouTube や インスタグラムでも情報発信しています。当日の様子は近々YouTube にアップする予定です。ぜひご覧ください。視聴は右のQRコードから、またはYouTube で「マヌケル」を検索してください。



今年度もよろしくお願いたします

三次市障害者支援センター職員一同



過去と現在のワクワク

新しい年度を迎えて一か月が過ぎましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
山の木々のみどりも濃さを増してきたこの時期、なにかスカッとしたところですか？

さて、話は全く変わりますが、以前もこのセンターだよりで紹介したことのある小説家片岡義男の作品の魅力伝える「片岡義男を旅する一冊」という本が、クラウドファンディングで資金を集めて、昨年刊行されていたのを、偶然インターネットで発見したので、早速買って読んでみました。

1ページ目の「自由な旅を、と小さな相棒が言った。」を読んだとたん、片岡ワールドにすっぽり引き込まれてしまいました。還暦を過ぎた私の心を少年のようにワクワクさせてくれることばのひとつひとつ。私は知らず知らずのうちに片岡ワールドを求めて生きてきたんだと、あらためて思いました。

これからも、このワクワク感を大切にしたいと思います。
みなさんはどうですか？日々の生活の中でワクワクすることってありますか？

障害者支援センターも、ワクワクしてもらえるような企画を取り入れながら、2022年度をみなさんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

よろしくお願いたします。

センター長 安永 統

* 残念なのは、当時、新刊が出るたびに買っていた文庫本のほとんどを処分してしまったことです。

そこで一句 **あの頃と 今も同じと 旅支度 マヌケル**

あなたの“ホツと”を、おしえてください。

今回は ハートフルサロンの参加されたみなさんに、
私の“ホツと”をおしえてもらいました。



カフイ〜。さんの“ホツと”
皆さん、Coffeeの由来ってご存知ですか？さだかではないのですが…
かつて僧侶が旅の途中でのどがかわいてしまい、道端のCoffee豆をかじってみたところ、苦かったので、煎じて飲んでみればと思立ち、煎じて飲んでみたところ疲れが癒えて無事旅を終えたところよりCoffeeが広まったとの事だと聞いています。
だから私も仕事の途中で一息いれる際にCoffee(ice coffee)を飲むとホツとしますね！

ディスコちゃんの“ホツと”
アプリを使って皆でわいわいおしゃべりするとき



いをりさんの“ホツと”
絵を描いているとき、折り紙をしているとき、キンモクセイの香り



けいすけさんの“ホツと”
絵を描いているとき

ひろちゃんの“ホツと”
家に着いた瞬間

この企画では、あなたの「ホツと」を募集しています。
「私はこんなことで“ホツと”するよ。」「僕はこれで“ホツと”したよ。」など、普段のちょっとしたあなたの“ホツと”をお知らせください。増刊号などで紹介させていただきます。
電話・ファックス・メール・郵便で受け付けています。もちろん匿名でかまいません。
あなたの“ホツと”をお待ちしています。

投稿先 電話 0824-65-1131 ファックス 0824-65-1132
Eメール support@p1.pionet.ne.jp